

事務事業評価シート

事務事業コード	006700	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	食育推進事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期	
	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	食育基本法 健康増進法	
1301	健康づくり、疾病予防の推進					
目標の 施策の 目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度		
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	事業分類区分	ソフト(任意)
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	運営方法	外部委託
	特定健康診査(国保)受診率		40%	60%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	食育推進事業費		予算事業コード	01-04-01-02-07-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	増加する生活習慣病を予防するために、最も重要である食生活の改善を広く普及するため、食育推進員を養成し、伝達講習会を通して市民の健康づくりにつなげる。
手段 (どうするのか)	食育推進員の養成および育成と食育推進員による地区伝達講習会を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①食育推進員養成講座の実施 ②地域における伝達講習会の実施	①食育推進員養成講座の実施 ②地域における伝達講習会の実施	①食育推進員養成講座の実施 ②地域における伝達講習会の実施	①食育推進員養成講座の実施 ②地域における伝達講習会の実施	①食育推進員養成講座の実施 ②地域における伝達講習会の実施
事業費	年度別実績	①食育推進員養成講座の実施 1会場2クール ②地域における伝達講習会の実施 321回	①食育推進員養成講座の実施 3会場 ②地域における伝達講習会の実施 335回	①食育推進員養成講座の実施 1会場2クール ②地域における伝達講習会の実施 328回		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費(A+B)	11,422	12,241	5,741	0	0
	直接経費 A	3,481	3,458	3,568	0	0
	国・県	0	0	72	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,481	3,458	3,496	0	0
	人件費 B	7,941	8,783	2,173	0	0
職員数の 内訳	正規職員	1.10	1.20	0.30	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	伝達講習会開催数	回	目標	400
			実績	321	335	328	0	0
	(指標の説明) 食育推進員が各地区で実施をした伝達講習会の回数							
2	食育推進員養成講座受講者数	人	目標	40	40	40	40	40
			実績	25	37	24	0	0
	(指標の説明) 食育推進員養成講座の受講人数							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 食育推進係 0857-20-3192</p> <p>【10次総の施策体系】 1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P98（健044）</p> <p>【事業の概要】 地域における食生活の改善を積極的に推進していくことを目的に、増加する生活習慣病予防に最も重要である食生活の改善を広く普及し、健康づくりの推進につなげる。 1 食育推進員養成講座の実施 2 食育推進員における地区組織活動を育成し、増加する生活習慣病予防のために地域の食生活改善を普及するための地区伝達講習会の実施 (委託先) 鳥取市食育推進員会 (補助金) 鳥取県地域での食育の推進事業交付金（県交付金）補助率1/2 鳥取市食育推進員会鳥取支部</p> <p>【事業の成果】 食育推進員養成講座を開催し、食育を推進するボランティアの数を増やすと共に、食育推進員への教育、支援を通して地区伝達講習会を各地区で開催することが出来た。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>決算額</th> <th>食育推進員 養成講座</th> <th>講座 修了者数</th> <th>地区 伝達講習会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>3,480,916円</td> <td>8回シリーズ(1会場×2グループ)</td> <td>24人</td> <td>321回</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>3,457,528円</td> <td>8回シリーズ(3会場×1グループ)</td> <td>37人</td> <td>335回</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>3,568,223円</td> <td>8回シリーズ(1会場×2グループ)</td> <td>23人</td> <td>328回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 食育推進員の養成と食育推進員の地区活動を通して、確かな知識の普及に継続して取り組んでいく。</p>		決算額	食育推進員 養成講座	講座 修了者数	地区 伝達講習会	平成28年度	3,480,916円	8回シリーズ(1会場×2グループ)	24人	321回	平成29年度	3,457,528円	8回シリーズ(3会場×1グループ)	37人	335回	平成30年度	3,568,223円	8回シリーズ(1会場×2グループ)	23人	328回
		決算額	食育推進員 養成講座	講座 修了者数	地区 伝達講習会																
平成28年度	3,480,916円	8回シリーズ(1会場×2グループ)	24人	321回																	
平成29年度	3,457,528円	8回シリーズ(3会場×1グループ)	37人	335回																	
平成30年度	3,568,223円	8回シリーズ(1会場×2グループ)	23人	328回																	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	伝達講習会開催数	80%	84%	82%		
	2	食育推進員養成講座受講者数	63%	93%	60%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	周知方法が固定化されてきたため、受講生が集まりにくかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	周知方法や開催方法等を検討することで食育推進員養成講座受講生を増やし、食育を推進するボランティアの人数を増やすと共に、今後も引き続き食育推進員の地区活動を通して、確かな知識の普及に継続して取り組み、生涯を通じた健康増進につなげる		

事務事業評価シート

事務事業コード	006800	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	成人栄養改善事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	健康増進法 食育基本法
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 実施の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	60%	予算事業コード	01-04-01-02-07-02
予算	予算事業名	成人栄養改善事業費			予算事業コード	01-04-01-02-07-02

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民(成人)
意図 (どのような状態 にするために)	市民の健康づくりおよび生活習慣病の重症化予防を重点にした栄養改善事業の実施により、健康的な食習慣の定着を推進し、健康寿命の延伸を図る。
手段 (どうするのか)	健康的な食習慣を身につけるための栄養改善事業を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	①糖尿病食生活教室 ②糖尿病食生活教室フ ォロー教室 ③適塩講座	①糖尿病食生活教室 ②糖尿病食生活教室フ ォロー教室 ③適塩講座	①糖尿病食生活教室 ②糖尿病食生活教室フ ォロー教室 ③適塩講座	①糖尿病食生活教室 ②糖尿病食生活教室フ ォロー教室 ③適塩講座	①糖尿病食生活教室 ②糖尿病食生活教室フ ォロー教室 ③適塩講座
年度別実績	①糖尿病食生活教室 2回シリーズ×2 ②糖尿病食生活教室フ ォロー教室 1回 ③適塩教室 2回	①糖尿病食生活教室 2回シリーズ×2 ②糖尿病食生活教室フ ォロー教室 1回 ③適塩教室 2回	①糖尿病食生活教室 2回シリーズ×2 ②糖尿病食生活教室フ ォロー教室 1回 ③適塩教室 2回	①糖尿病食生活教室 2回シリーズ×2 ②糖尿病食生活教室フ ォロー教室 1回 ③適塩教室 2回			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	19,990	22,463	2,607	0	0	
	直接経費 A	499	506	434	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	499	506	434	0	0		
人件費 B	19,491	21,957	2,173	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	2.70	3.00	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	糖尿病食生活教室参加者増	人	目標 40	実績 36
(指標の説明) 糖尿病食生活教室の参加者の人数。基準値は講座の定員。								
2	適塩講座参加者満足度	%	目標 90	実績 86	90	90	90	90
(指標の説明) 適塩講座参加後アンケートで「参考になった」と回答した割合。基準値はH27年度を参考。								
3			目標 0	実績 0	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】食育推進係 0857-20-3192</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：なし</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 正しい食習慣を身につけるための栄養改善事業 生活習慣病の発症予防並びに重症化予防事業 各地域での栄養改善教室による知識の普及並びに栄養相談 <p>【事業の成果】 糖尿病食生活教室の受講者における1年後の調査では、約6割に空腹時血糖値の改善がみられた。糖尿病食生活教室フォロー教室では糖尿病の重症化予防のアプローチに努める事が出来た。適塩講座のアンケート結果からは、参加者の満足度が高い結果であった。 (事業の成果) 決算額 糖尿病 糖尿病食生活 適塩講座 食生活教室 フォロー教室</p> <table border="1"> <tr> <td>平成28年度</td> <td>449,150円</td> <td>2回シリーズを 2クール</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>505,744円</td> <td>2回シリーズを 2クール</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>434,016円</td> <td>2回シリーズを 2クール</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 不適切な食習慣による生活習慣病の増加が重要な課題となっている。これらに対処するため、引き続き成人の栄養改善事業を行い、生活習慣病の発症予防および重症化予防につなげるため、継続して実施する。</p>	平成28年度	449,150円	2回シリーズを 2クール	1回	2回	平成29年度	505,744円	2回シリーズを 2クール	1回	2回	平成30年度	434,016円	2回シリーズを 2クール	1回	2回
	平成28年度	449,150円	2回シリーズを 2クール	1回	2回											
平成29年度	505,744円	2回シリーズを 2クール	1回	2回												
平成30年度	434,016円	2回シリーズを 2クール	1回	2回												

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	糖尿病食生活教室参加者増	90%	85%	53%		
	2	適塩講座参加者満足度	96%	111%	100%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>糖尿病食生活教室は、これまでの予防域対象者から、重症化予防を重点にした対象者選定としたことが、参加者減につながっていると思われる。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>予定していた事業はスケジュール通り実施し、内容の充実も図ることが出来た。重症化予防を重点とした糖尿病食生活教室をはじめ、各栄養改善事業において今後も周知方法や内容の検討を重ねながら、引き続き、食生活の改善を通じた疾病の予防および重症化予防に努める。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	006900	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	母子栄養改善事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成18年度 ~ 全期
	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	食育基本法 母子保健法
1301	健康づくり、疾病予防の推進			
目標の 種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	50%	50%	運営方法	直営
	50%	50%	会計区分	一般会計
	40%	60%	予算事業コード	01-04-01-02-07-03
予算	予算事業名	母子栄養改善事業費		

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	乳幼児期から思春期までの子及びその保護者
意図 (どのような状態 にするために)	生涯健康でありつづける為に必要な知識や技術を習得し、乳幼児期から健康的な食生活を身につけ、生活習慣病予防につなげる。
手段 (どうするのか)	講話及び調理実習、参加型体験学習

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画	①食育教室の開催	①食育教室の開催	①食育教室の開催	①食育教室の開催	①食育教室の開催
	年度別実績	①食育教室の開催 75回	①食育教室の開催 67回	①食育教室の開催 64回		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	3,753	3,954	3,773	0	0
	直接経費 A	865	1,026	876	0	0
	国・県	0	77	111	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	865	949	765	0	0
人件費 B	2,888	2,928	2,897	0	0	
職員数の 内訳	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動 指標	1	食育教室参加者数	人	目標	1750	1750	1750	1450	1450
				実績	1765	1429	1163	0	0
	(指標の説明) 食育教室の参加者人数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 食育推進係 0857-20-3192</p> <p>【10次総の施策体系】 1301</p> <p>【予算上の経過】 予算事業別概要目次：なし</p> <p>【事業の概要】 乳幼児期の食のあり方は、健康的な食習慣を定着させる大切な時期であるが、育児不安の要因の一つにもなっている。そのため、従来より乳児期を対象に実施している「離乳食講習会」に加え、平成18年度より幼児期を対象とした「食育教室」を実施している。 また、平成27年度に、栄養士による離乳食の調理状況を収録した?V?を作成し、離乳食作りが初めての保護者や、就労等により講習会に受講が困難な方へ貸出をしている。</p> <p>【事業の成果】 乳幼児期より身近な食材に触れ、親子で五感を使って楽しむことや伝統的な食文化を体験する機会を増やすことで、健康的で規則正しい食習慣を身につけることができ、保護者の不安軽減につながっている。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">平成28年度</td> <td style="text-align: center;">平成29年度</td> <td style="text-align: center;">平成30年度</td> </tr> <tr> <td>・決算額</td> <td style="text-align: center;">865千円</td> <td style="text-align: center;">1,026千円</td> <td style="text-align: center;">875千円</td> </tr> <tr> <td>・離乳食講習会</td> <td style="text-align: center;">42回</td> <td style="text-align: center;">42回</td> <td style="text-align: center;">42回</td> </tr> <tr> <td>・食育教室</td> <td style="text-align: center;">76回</td> <td style="text-align: center;">67回</td> <td style="text-align: center;">64回</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 生涯の健康維持や、健康的で規則正しい食習慣を定着させるためには、繰り返し体験する機会を持つことが重要である。引き続き実践し続けることが出来るよう、対象者に合わせた支援をしていく必要があると考える。</p>		平成28年度	平成29年度	平成30年度	・決算額	865千円	1,026千円	875千円	・離乳食講習会	42回	42回	42回	・食育教室	76回	67回	64回
		平成28年度	平成29年度	平成30年度													
・決算額	865千円	1,026千円	875千円														
・離乳食講習会	42回	42回	42回														
・食育教室	76回	67回	64回														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	食育教室参加者数	101%	82%	66%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	事業対象者の一部変更があり、参加者が減少したものと考えられる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>生涯にわたり健全な心身と豊かな人間性を育むためには、心身の機能発達が著しい乳幼児期から食に関する知識の習得や体験を繰り返すことにより獲得していくことが重要であるため、参加者の年齢層に合わせて継続して取り組める内容を見直し、改善を図る。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	007000	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	健康教育・健康相談・訪問指導事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	昭和58年度 ～ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	健康増進法
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	60%		
予算	予算事業名	健康教育・健康相談・訪問指導事業費			予算事業コード	01-04-01-02-05-09

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	原則として、鳥取市に居住地を有する40歳から64歳までの者。
意図 (どのような状態にするために)	がんや糖尿病などの生活習慣病の発症と重症化を予防し、市民の健康寿命の延伸を図る。
手段 (どうするのか)	がんや生活習慣病についての正しい知識の普及啓発及びがん検診や健康診査の受診につながる意識啓発。 健診結果に基づく相談体制、保健指導の充実。 糖尿病等生活習慣病の発症及び重症化予防のため重点的な取り組みを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①健康教育の実施 ②健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) ③訪問指導の実施	①健康教育の実施 ②健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) ③訪問指導の実施	①健康教育の実施 ②健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) ③訪問指導の実施	①健康教育の実施 ②健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) ③訪問指導の実施	①健康教育の実施 ②健康相談・保健指導の実施(成人コーナーでの来所相談、地域での相談、電話相談など) ③訪問指導の実施
年度別実績	①健康教育の実施回数:260件 ②健康相談件数(延べ):5051件 ③訪問指導件数(延べ):463件	①健康教育の実施回数:203件 ②健康相談件数(延べ):2712件 ③訪問指導件数(延べ):428件	①健康教育の実施回数:200件 ②健康相談件数(延べ):1853件 ③訪問指導件数(延べ):290件			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	34,349	34,806	34,682	0	0
	直接経費 A	8,692	8,885	8,861	0	0
	国・県	665	794	965	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,027	8,091	7,896	0	0	
人件費 B	25,657	25,921	25,821	0	0	
職員数の内訳	正規職員	3.00	3.00	3.00	0.00	0.00
	嘱託職員	2.00	2.00	2.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	生活習慣病予防訪問指導延件数	人	目標	800
			実績	463	428	290	0	0
	(指標の説明)							
2	健康教育実施回数	回	目標	320	320	320	320	320
			実績	260	203	200	0	0
	(指標の説明)							
3	健康相談件数(延べ)	件	目標	2500	2500	2500	2500	2500
			実績	5051	2712	1853	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 成人保健係 0857-20-3194																			
	【10次総の施策体系】 1301																			
	【予算計上の経過】 なし																			
	<p>【事業の概要】 糖尿病等の生活週間病は自覚症状がなく進行し、現在の我が国における死亡や要介護状態となることなどの主な原因の一つにもなっている。市でも同様であり、その対策が急務である。第3期特定健康診査等実施計画に基づき、特定保健指導対象以外の人の保健指導についても、より適切かつ効果的に保健指導を実施することが必要である。</p> <p>【事業の成果】 健康に関する知識を普及・啓発し、住民の健康についての自覚を高めたり、個別相談により健康への不安や健康づくりへの助言を行った。また、各専門職による家庭訪問等により個々の生活背景に応じた支援を行い、健康不安の解消や生活習慣改善の支援につなげた。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>決算額</th> <th>健康教育</th> <th>健康相談</th> <th>訪問指導</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>8,691,867円</td> <td>260回</td> <td>128回</td> <td>463人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>8,885,645円</td> <td>203回</td> <td>100回</td> <td>428人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>8,861,329円</td> <td>200回</td> <td>90回</td> <td>290人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の方向性】 特定健診の結果で、生活習慣病の改善が必要な者を対象に保健指導を実施する。また、地域において、生活習慣病予防や健康づくりの意識を醸成することが必要である。</p>		決算額	健康教育	健康相談	訪問指導	平成28年度	8,691,867円	260回	128回	463人	平成29年度	8,885,645円	203回	100回	428人	平成30年度	8,861,329円	200回	90回
	決算額	健康教育	健康相談	訪問指導																
平成28年度	8,691,867円	260回	128回	463人																
平成29年度	8,885,645円	203回	100回	428人																
平成30年度	8,861,329円	200回	90回	290人																

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	生活習慣病予防訪問指導延件数	58%	54%	36%		
	2	健康教育実施回数	81%	63%	63%		
	3	健康相談件数(延べ)	202%	108%	74%		

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>健康教育・相談については、おおよそ例年通りの実施となった。訪問指導については、不在やマンパワーの不足により大きく減少した。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>今後も継続して、地域や各種団体に向けた健康教育、健康相談、訪問指導を実施し、適切な指導や支援を行うことにより、生活習慣病の予防及び要介護状態になることを予防し、健康づくりを支援する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード*	007101	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	保健所整備事業		所属名	健康こども部 保健医療福祉連携課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成30年度 ~ 令和2年度	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、根拠計画等		
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度		
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	事業分類区分	建設、整備
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	特定健康診査(国保)受診率		40%	60%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	保健所整備事業費		予算事業コード	01-04-01-01-31-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	保健所施設を駅南庁舎に整備する。
意図 (どのような状態にするために)	現在の駅南庁舎に保健所、保健センター、子育て支援機能を配置し、「健康づくりと子育て支援の総合拠点」とする。
手段 (どうするのか)	令和2年春の開設を目標に、計画的に事業を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	①鳥取市保健所等(駅南庁舎)整備基礎調査	①平成30年度実施設計業務委託課の決定	①駅南庁舎整備改修実施設計	①駅南庁舎整備改修実施設計 ②駅南庁舎整備改修工事	①駅南庁舎整備改修工事 ②駅南庁舎オープン
年度別実績	①鳥取市保健所等(駅南庁舎)整備基礎調査	①平成30年度実施設計業務委託課の決定	①駅南庁舎整備改修実施設計を開始(設計完了は平成31年度)				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	5,019	0	0	
	直接経費 A	0	0	1,397	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	1,397	0	0	
人件費 B	0	0	3,622	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI]駅南庁舎の「健康づくりと子育て支援の総合拠点」として整備	件	目標	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 連携係 0857-20-3914</p> <p>【10次総の施策体系】 1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P77（健005）</p> <p>【事業の概要】 保健所と保健センター、子育て支援部門の窓口を集約して連携強化を図り、総合的な保健衛生サービスの提供、子育て支援を行うため、駅南庁舎を「健康づくりと子育て支援の総合拠点」とする施設整備を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成27～28年度 保健所等（駅南庁舎）整備基礎調査業務 平成30年度 駅南庁舎改修工事実施設計業務</p> <p>【今後の課題・方向性】 駅南庁舎の施設整備を引き続き継続する。</p> <p>※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI] 駅南庁舎の「健康づくりと子育て支援の総合拠点」として整備					
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	設計内容の調整に時間を要したため。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	実施設計がやや遅延しているものの工事開始に影響しない範囲であり、概ね順調に進捗している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>実施設計がやや遅延したもののおおむね順調に進捗していると考え。令和元年5月末に実施設計を完了し、9月中に工事発注。令和2年春頃オープンに向け施設整備を行う。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	007200	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	健康診査事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	昭和58年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 実施の 目録	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	外部委託
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	60%		
予算	予算事業名	健康診査費			予算事業コード	01-04-01-02-05-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各種健診の対象となる市民
意図 (どのような状態 にするために)	健康づくりや生活習慣病予防の必要性を認識し、健康の保持増進、疾病の早期発見のために必要な健診を受けるため
手段 (どうするのか)	健康づくりに関する啓発に努めるとともに、市民が受診しやすい健診受診体制の整備及び健診等に関する相談体制の充実を図る

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布 ②働く世代の女性特有のがん健診未受診者勸奨事業 ③未受診者へのコールリコール ④休日検診の拡充	①特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布 ②働く世代の女性特有のがん健診未受診者勸奨事業 ③未受診者へのコールリコール ④休日検診の拡充	①特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布 ②働く世代の女性特有のがん健診未受診者勸奨事業 ③未受診者へのコールリコール ④休日検診の拡充	①特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布 ②働く世代の女性特有のがん健診未受診者勸奨事業 ③未受診者へのコールリコール ④休日検診の実施 ⑤市内企業との連携	①特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布 ②働く世代の女性特有のがん健診未受診者勸奨事業 ③未受診者へのコールリコール ④休日検診の実施 ⑤市内企業との連携	①特定年齢の人に対する全がん無料クーポン券の配布 ②働く世代の女性特有のがん健診未受診者勸奨事業 ③未受診者へのコールリコール ④休日検診の実施 ⑤市内企業との連携
	年度別実績	①特定年齢に対する全がん無料クーポンを配布した ②30代節目年齢女性HPV・子宮頸がん検診を継続実施した ③未受診者への受診勸奨再通知 ④休日検診機会の拡充	①特定年齢へ全がん無料クーポンを配布実施 ②30代節目年齢女性にHPV・子宮頸がん検診を継続実施 ③未受診者への受診勸奨再通知 ④休日検診の実施 ⑤市内企業と連携して店舗での検診実施	①特定年齢へ全がん無料クーポンを配布実施 ②30代節目年齢女性にHPV・子宮頸がん検診を継続実施 ③未受診者への受診勸奨再通知 ④休日検診の実施 ⑤市内企業と連携して店舗での検診実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	448,639	458,537	459,392	0	0	
	直接経費 A	422,982	432,616	433,571	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	12,820	12,834	13,501	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	43,587	48,884	47,499	0	0
人件費 B	366,575	370,898	372,571	0	0		
職員数の内訳	正規職員	25,657	25,921	25,821	0	0	
	嘱託職員	3.00	3.00	3.00	0.00	0.00	
	臨時職員	2.00	2.00	2.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	胃・肺・大腸がん検診受診率(40~69歳)	%	目標	50
			実績	40.5	39.3	37.3	0	0
	(指標の説明) 国のがん対策基本計画で示された受診率算定基準(対象者69歳以下)							
2	子宮・乳がん検診受診率(子宮:20~69歳、乳:40~69歳)	%	目標	50	50	50	50	50
			実績	57	59.7	59.2	0	0
	(指標の説明) 国のがん対策基本計画で示された受診率算定基準(対象者69歳以下)							
3	がん検診精密検査受診率	%	目標	90	90.5	91	91.5	92
			実績	89.4	90.2	89.8	0	0
	(指標の説明) 昨年度のがん検診において精密検査の対象となり、その後検査を受けた人の割合							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 健診推進室 0857-20-0320</p> <p>【10次総の施策体系】 1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算P97 (健042)</p> <p>【事業の概要】 健康増進法に基づく各種健康診査を実施</p> <p>【事業の内容・実績(過去3年)】 ※がん検診については国基準受診率(69歳以下の受診率) ※子宮・乳は2年に1回の受診率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>38.9%</td> <td>38.5%</td> <td>36.5%</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診</td> <td>40.4%</td> <td>38.8%</td> <td>36.6%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>42.1%</td> <td>40.5%</td> <td>39.0%</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>56.4%</td> <td>60.4%</td> <td>60.7%</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>57.8%</td> <td>58.9%</td> <td>57.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 胃・肺・大腸がん検診については、60歳代の受診者数が減少していることが受診率に大きく影響している。本市のがん検診は、職場等において検診を受ける機会がない人が受診しているところであり、年々就業年齢が延びている現状を踏まえると、本市以外での検診を受診していることも一因と考えられる。一方で、がんは長年にわたり本市の死亡原因の第一位となっており、検診およびがん検診要精密検査者の受診率向上に向けた取り組みを今後も推進していく必要がある。</p>		平成28年度	平成29年度	平成30年度	胃がん検診	38.9%	38.5%	36.5%	肺がん検診	40.4%	38.8%	36.6%	大腸がん検診	42.1%	40.5%	39.0%	子宮がん検診	56.4%	60.4%	60.7%	乳がん検診	57.8%	58.9%	57.7%
		平成28年度	平成29年度	平成30年度																					
胃がん検診	38.9%	38.5%	36.5%																						
肺がん検診	40.4%	38.8%	36.6%																						
大腸がん検診	42.1%	40.5%	39.0%																						
子宮がん検診	56.4%	60.4%	60.7%																						
乳がん検診	57.8%	58.9%	57.7%																						

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	胃・肺・大腸がん検診受診率(40~69歳)	81%	79%	75%		
	2	子宮・乳がん検診受診率(子宮:20~69歳、乳:40~69歳)	114%	119%	118%		
	3	がん検診精密検査受診率	99%	100%	99%		

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>国ががん対策基本計画において受診率の目標値を50%と高く設定しており、本事業もこれに準拠して目標値を設定している。このため達成できた指標もあるが、胃・肺・大腸がん検診の受診率については達成が難しかった。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>がんは、長年にわたり本市の死亡原因の第一位となっており、死亡率を下げることは喫緊の課題である。このため今後がん検診およびがん検診要精密検査者の受診率向上に努めていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	007300	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	A類疾病予防接種事業		所属名	健康子ども部 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	10	名称	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業区分名称	事業期間	全期
	政策	03	施策	1301	根拠法令、根拠計画等	予防接種法	
	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)	
目標の 実施の 手段	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	外部委託	
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計	
	特定健康診査(国保)受診率		40%	60%	予算事業コード	01-04-01-04-01-07	
予算	予算事業名	A類疾病予防接種費					

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	乳幼児、学童、生徒等
意図 (どのような状態にするために)	疾病予防を図る。
手段 (どうするのか)	各種予防接種を実施する。 ・BCG…保健センターにおける集団接種 ・BCG以外…医療機関における個別接種

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		①BCG ②ポリオ ③3種混合 ④2種混合 ⑤4種混合 ⑥MR1期 ⑦MR2期 ⑧日本脳炎 ⑨ヒブワクチン ⑩小児用肺炎球菌 ⑪子宮頸がん ⑫水痘 ⑬B型肝炎	①BCG ②ポリオ ③2種混合 ④4種混合 ⑤MR1期 ⑥MR2期 ⑦日本脳炎 ⑧ヒブワクチン ⑨小児用肺炎球菌 ⑩子宮頸がん ⑪水痘 ⑫B型肝炎	①BCG ②ポリオ ③2種混合 ④4種混合 ⑤MR1期 ⑥MR2期 ⑦日本脳炎 ⑧ヒブワクチン ⑨小児用肺炎球菌 ⑩子宮頸がん ⑪水痘 ⑫B型肝炎	①BCG ②ポリオ ③2種混合 ④4種混合 ⑤MR1期 ⑥MR2期 ⑦日本脳炎 ⑧ヒブワクチン ⑨小児用肺炎球菌 ⑩子宮頸がん ⑪水痘 ⑫B型肝炎	①BCG ②ポリオ ③2種混合 ④4種混合 ⑤MR1期 ⑥MR2期 ⑦日本脳炎 ⑧ヒブワクチン ⑨小児用肺炎球菌 ⑩子宮頸がん ⑪水痘 ⑫B型肝炎 ⑬3種混合 ⑭風しん第5期
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	381,572	384,951	385,272	0	0
	直接経費 A	372,797	376,123	379,478	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	372,797	376,123	379,478	0	0	
人件費 B	8,775	8,828	5,794	0	0	
職員数の 内訳	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.00	0.00
	嘱託職員	1.50	1.50	1.50	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	麻疹、風疹予防接種(2期)の接種率	%	目標	95
			実績	94	94.3	93.4	0	0
	(指標の説明) 流行阻止に必要とされる接種率 95%							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 予防係 0857-20-3191</p> <p>【10次総の施策体系】 1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P112 (健072)</p> <p>【事業の概要】 伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するため、予防接種法及び関連法令に基づき集団接種及び医療機関での個別接種によって予防接種を実施する。</p> <p>【事業の成果】 平成28年度 決算額 372,797,661円 (BCG1,552件、不活化ポリオ98件、三種混合1件、二種混合1,236件、四種混合6,277件、MR1期1,588件、2期1,557件、日本脳炎5,991件、ヒブワクチン6,172件、小児用肺炎ワクチン6,207件、子宮頸がん38件、水痘2,901件、B型肝炎ワクチン2,409件) 平成29年度 決算額 376,122,677円 (BCG1,425件、不活化ポリオ50件、二種混合1,566件、四種混合5,842件、MR1期1,497件、2期1,655件、日本脳炎6,530件、ヒブワクチン5,688件、小児用肺炎ワクチン5,699件、子宮頸がん43件、水痘2,789件、B型肝炎ワクチン4,216件) 平成30年度 決算額 379,478,397円 (BCG1,420件、不活化ポリオ36件、二種混合1,575件、四種混合5,931件、MR1期1,439件、2期1,518件、日本脳炎6,998件、ヒブワクチン5,720件、小児用肺炎ワクチン5,737件、子宮頸がん20件、水痘2,780件、B型肝炎ワクチン4,162件)</p> <p>【今後の課題・方向性】 予防接種法に基づき、適正に実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	麻疹、風疹予防接種(2期)の接種率	99%	99%	98%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>出生数は減少傾向にあるが、単価の見直し、風しん第5期定期接種開始の開始など、制度的な理由による増加はやむを得ないものと考えられる。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	007400	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	B類疾病予防接種事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	予防接種法及び予防接種法施行令
1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分 ソフト(義務) 運営方法 外部委託 会計区分 一般会計
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	
	特定健康診査(国保)受診率		40%	60%	
予算	予算事業名	B類疾病予防接種費		予算事業コード	01-04-01-04-01-08

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	インフルエンザ予防接種 (①65歳以上の方②60～64歳の方で心臓、腎臓、呼吸器等に一定の障害(1級)を有する人及び免疫機能が抑制される人③重症心身障がい者及び重症心身障がい児) 高齢者肺炎球菌感染症予防接種 (①65歳の方(経過措置あり)②60～64歳の方で心臓、腎臓、呼吸器等に一定の障害(1級)を有する人及び免疫機能が抑制される人)
意図 (どのような状態にするために)	インフルエンザ及び肺炎球菌感染症による疾病の重症化、感染の拡大の防止を図る。
手段 (どうするのか)	医療機関における個別接種

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		①インフルエンザ予防接種 ②肺炎球菌ワクチン予防接種	①インフルエンザ予防接種 ②肺炎球菌ワクチン予防接種	①インフルエンザ予防接種 ②肺炎球菌ワクチン予防接種	①インフルエンザ予防接種 ②肺炎球菌ワクチン予防接種	①インフルエンザ予防接種 ②肺炎球菌ワクチン予防接種	①インフルエンザ予防接種 ②肺炎球菌ワクチン予防接種
年度別実績	①インフルエンザ予防接種 ・接種人数 33,560人 ②肺炎球菌ワクチン予防接種 ・接種人数 5,426人	①インフルエンザ予防接種 ・接種人数 33,471人 ②肺炎球菌ワクチン予防接種 ・接種人数 5,623人	①インフルエンザ予防接種 ・接種人数 30,946人 ②肺炎球菌ワクチン予防接種 ・接種人数 5,533人				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	157,029	161,487	170,157	0	0	
	直接経費 A	150,254	154,641	163,340	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	150,254	154,641	163,340	0	0		
人件費 B	6,775	6,846	6,817	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	高齢者インフルエンザ接種率	%	目標	70
			実績	64	62.7	57.1	0	0
	(指標の説明)							
2	高齢者肺炎球菌感染症接種率	%	目標	50	50	50	50	50
			実績	45.6	44.2	43.5	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 予防係 0857-20-3191</p> <p>【10次総の施策体系】 1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P113 (健073)</p> <p>【事業の概要】 平成13年の予防接種法の改正により定期接種として高齢者に対するインフルエンザ予防接種を開始した。平成26年の予防接種法施行令の改正により定期接種として高齢者肺炎球菌感染症予防接種を開始した。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>接種者数 (接種率)</th> <th>高齢者インフルエンザ</th> <th>高齢者肺炎球菌</th> <th>乳幼児インフルエンザ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>33,560人 (64.0%)</td> <td>5,426人 (45.2%)</td> <td>6,125人 (58.8%)</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>33,471人 (62.8%)</td> <td>5,623人 (44.2%)</td> <td>6,160人 (60.4%)</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>30,946人 (57.2%)</td> <td>5,533人 (43.5%)</td> <td>5,621人 (57.1%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 インフルエンザ、肺炎球菌感染症による重症化を防止するために、継続して実施する。</p>		接種者数 (接種率)	高齢者インフルエンザ	高齢者肺炎球菌	乳幼児インフルエンザ	平成28年度	33,560人 (64.0%)	5,426人 (45.2%)	6,125人 (58.8%)	平成29年度	33,471人 (62.8%)	5,623人 (44.2%)	6,160人 (60.4%)	平成30年度	30,946人 (57.2%)	5,533人 (43.5%)	5,621人 (57.1%)
		接種者数 (接種率)	高齢者インフルエンザ	高齢者肺炎球菌	乳幼児インフルエンザ													
平成28年度	33,560人 (64.0%)	5,426人 (45.2%)	6,125人 (58.8%)															
平成29年度	33,471人 (62.8%)	5,623人 (44.2%)	6,160人 (60.4%)															
平成30年度	30,946人 (57.2%)	5,533人 (43.5%)	5,621人 (57.1%)															

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	高齢者インフルエンザ接種率	91%	90%	82%		
	2	高齢者肺炎球菌感染症接種率	91%	88%	87%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>高齢者肺炎球菌感染症予防接種の経過措置(70歳以上で未接種の方への費用助成)が平成31年度から5年間延長されることになったが、対象者が減少するため、縮小傾向の見通しである。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	007500	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	風しん予防接種費用助成事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成25年度 ~ 全期	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、根拠計画等		
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度		
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	事業分類区分	ソフト(任意)
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	特定健康診査(国保)受診率		40%	60%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	風しん予防接種費用助成事業費		予算事業コード	01-04-01-04-01-15	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	妊娠を予定・希望する女性のうち風しん抗体価検査の結果、抗体価が低かった者及び妊婦の夫等
意図 (どのような状態にするために)	先天性風しん症候群の発生を防ぐ。
手段 (どうするのか)	風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチン接種費用を助成することにより、希望者が接種を受けやすい体制を整備する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	①大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行う。	①大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行う。	①大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行う。	①大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行う。	①大人の風しん予防接種について予防接種費の助成を行う。
年度別実績	①麻しん風しん混合ワクチン95人、風しん単独ワクチン52人	①麻しん風しん混合ワクチン85人、風しん単独ワクチン58人	①麻しん風しん混合ワクチン240人、風しん単独ワクチン132人				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,971	1,926	3,896	0	0	
	直接経費 A	1,249	1,194	3,172	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	550	524	1,702	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	699	670	1,470	0	0		
人件費 B	722	732	724	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	ワクチン接種を希望し、接種・費用助成を受けた者の割合	%	目標	100
			実績	100	100	100	0	0
	(指標の説明) 対象者のうち希望する者にワクチン接種費用を助成し、効果的に先天性風しん症候群の発生を防ぐ。							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 予防係 0857-20-3191</p> <p>【10次総の施策体系】 1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・なし</p> <p>【事業の概要】 風しんのまん延及び先天性風しん症候群の発生を防ぐため、免疫の低い妊娠を希望する女性と妊婦の配偶者を対象に、風しん予防接種費用の助成を行う。 平成31年1月より、県が助成対象を拡大したことに合わせ、妊婦の同居者や妊娠を希望する女性の同居者で風しん抗体価が低い方も対象とし、事業実施した。</p> <p>【事業の内容・実績】 平成28年度 助成人数147人 (MR 95人、風しん単独 52人) 平成29年度 助成人数143人 (MR 85人、風しん単独 58人) 平成30年度 助成人数372人 (MR 240人、風しん単独 132人)</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取県における風しん対策特別促進補助金交付事業による補助を受けて事業を実施しており、県の動向を見ながら事業の継続等について検討する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	ワクチン接種を希望し、接種・費用助成を受けた者の割合	100%	100%	100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>全国的な風しんの流行に伴い、接種者が増加しているが、助成を希望する対象者全員への助成を継続していく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	033900	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域保健医療推進事業		所属名	健康子ども部鳥取市保健所 健康支援課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成30年度 ～ 全期
	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	鳥取県東部保健医療圏地域保健医療協議会条例
1301	健康づくり、疾病予防の推進			
目標の 種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	50%	50%	運営方法	直営
	50%	50%	会計区分	一般会計
	40%	60%	予算事業コード	01-04-01-10-06-01
予算	予算事業名	地域保健医療推進費		

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県東部圏域（鳥取市、岩美郡、八頭郡）
意図 (どのような状態にするために)	鳥取県保健医療計画及び鳥取県地域医療構想の推進
手段 (どうするのか)	東部保健医療圏の地域保健医療協議会（全体会・専門部会）及び地域医療構想調整会議を開催し、保健医療計画の策定、保健医療計画及び地域医療構想の推進に関する協議を実施する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		年度別実績			①保健医療協議会兼地域医療構想調整会議の開催 ②健康づくり部会の開催 ③専門的な医療体制に関する検討会の開催	①保健医療協議会兼地域医療構想調整会議の開催
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	0	0	7,949	0	0
	直接経費 A	0	0	706	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	640	0	0
一般財源	0	0	66	0	0	
人件費 B	0	0	7,243	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	①保健医療協議会兼地域医療構想調整会議の開催	回	目標	0
			実績	0	0	3	0	0
	(指標の説明) 年3回の協議会の開催による協議							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】健康長寿支援係 0857-22-5695</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P87(健021)</p> <p>【事業の概要】 東部保健医療圏の保健医療に関する課題の整理と解決のための協議を行うことで、圏域の保健医療計画及び地域医療構想の推進を図る。</p> <p>【事業の成果】 保健医療計画及び地域医療構想の推進について、年間計画に沿って必要な協議の場を設定することができた。 ○平成30年度 ・保健医療協議会兼地域医療構想調整会議 3回 (うち医療提供部会は3回、へき地・救急医療部会は1回合同開催) ・健康づくり部会 1回 ・専門的な救急医療体制検討会 2回 ・循環器疾患医療連携検討会 1回</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も年間計画に沿って計画的な開催を行うことで、地域医療構想の推進に向けた協議を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	①保健医療協議会兼地域医療構想調整会議 の開催			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	年間スケジュールに沿って協議会の開催を行い必要な協議ができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	病床を有する全ての医療機関の2025年度に向けた対応方針等について情報交換及び協議ができた。また、圏域の課題に応じた必要な協議を行うことができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	鳥取県からの委託事業であり、県担当課である医療政策課と連携して必要な協議を行う。厚生労働省が示す年間スケジュールに沿って概ね実施できており、現状維持とする。		

事務事業評価シート

事務事業コード	034000	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域医療救急体制強化事業		所属名	健康こども部 保健医療福祉連携課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成30年度 ~ 令和4年度	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、根拠計画等		
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度		
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	事業分類区分	ソフト(任意)
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	運営方法	その他
	特定健康診査(国保)受診率		40%	60%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域医療救急体制強化事業費		予算事業コード	01-04-01-10-08-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	国立大学法人岡山大学
意図 (どのような状態にするために)	鳥取県東部圏域の災害救急に貢献する人材を育成し、広域的な災害が発生した場合の救急医療体制の構築に寄与する。
手段 (どうするのか)	岡山大学医学部に災害救急に貢献する人材育成を目的とした寄附講座を開設。(平成30年7月)鳥取市立病院を研究施設と定め、実践・研究を行うため、救急科に医師の派遣を受ける。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画			①岡山大学へ寄附講座を開設	①災害医療に関する実践研究	①災害医療に関する実践研究
年度別実績			①岡山大学へ寄附講座を開設				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	30,724	0	0	
	直接経費 A	0	0	30,000	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	30,000	0	0	
人件費 B	0	0	724	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	災害医療マネジメント学講座の開設	講座	目標	0
			実績	0	0	1	0	0
	(指標の説明) 寄附講座の設置を達成済。							
2	災害医療マネジメント学講座の実践研究		目標	0	0	1	1	1
			実績	0	0	1	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】保健医療福祉連携課 0857-20-3914</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P77(健006)</p> <p>【事業の概要】 広域的な災害等が発生した場合の救急医療体制を確保するため、岡山大学医学部と連携し、岡山大学医学部に災害救急に貢献する人材育成を目的とした寄付講座を開設した。併せて、鳥取市立病院を研究施設と定め、実践・研究を行うための医師の派遣を受ける。これにより、鳥取市立病院の救急科をはじめその他の診療科目の診療体制の確保・充実を図ることができる。さらに、研究派遣を通じて、医師の定着を図ることができれば、鳥取市立病院の医師確保に繋げることができる。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置期間：平成30年度～令和4年度 ・寄附金額：総額 150,000千円 ・令和元年～4年度 30,000千円/年度(債務負担行為) <p>(実績)</p> <p>平成30年度(寄附金額) 30,000千円</p> <p>【今後の課題・方針】 令和4年度までの5年間、鳥取市立病院を研究施設とし、引き続き人材育成及び救急医療体制に関する実践研究を行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	災害医療マネジメント学講座の開設			100%		
	2	災害医療マネジメント学講座の実践研究			100%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	岡山大学医学部に災害救急に貢献する人材育成を目的とした寄付講座を開設し、実践研究を行う体制を整えた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	引き続き鳥取市立病院への医師派遣を受けるとともに、本市の救急・災害医療体制に関する実践研究を行う。災害救急に貢献する人材が育成でき、併せて研究結果は本市の災害対応計画に対する基礎資料として貢献するものとする。		

事務事業評価シート

事務事業コード	034100	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	肝臓がん(肝炎)対策事業		所属名	健康子ども部鳥取市保健所 健康支援課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
目標の 実施の 手段	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	運営方法	直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	会計区分	一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	60%	予算事業コード	01-04-01-02-22-02
予算	予算事業名	肝臓がん(肝炎)対策事業費			予算事業コード	01-04-01-02-22-02

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	①県内に在住する肝炎ウイルス検査を未受診の者で、次のいずれかに該当する方 (1) 39歳以下の受診を希望する方 (2) 40歳以上の受診を希望する者のうち要件に該当する方 ②肝炎ウイルス陽性者
意図 (どのような状態 にするために)	①肝炎ウイルス陽性者の早期発見及び早期治療を図る ②肝炎ウイルス性疾患の重症化予防を図る
手段 (どうするのか)	①本市保健所及び委託医療機関において肝炎ウイルス検査を実施 ②肝炎ウイルス初回精密検査費及び定期検査費用を一部助成する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			①肝炎ウイルス検査の実施 ②肝炎ウイルス陽性者初回精密検査費及び定期検査費用一部助成	①肝炎ウイルス検査の実施	①肝炎ウイルス検査の実施	
	年度別実績			①・保健所検査: B型 + C型 42件、B型のみ1件 ・医療機関委託 B型 + C型 195件 ②・初回精密検査費助成 7件 ・定期検査費助成 11件			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	7,984	0	0	
	直接経費 A	0	0	741	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	395	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	121	0	0
	一般財源	0	0	225	0	0	
人件費 B	0	0	7,243	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	検査実施機関	区分	目標	0	0	3	3	3	
				実績	0	0	3	0	0	
	(指標の説明) 直営、病院・診療所等、健診受託機関の3区分の機関での検査実施体制を確保する。									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3					目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)										

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-22-5694</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P102 (健051)</p> <p>【事業の概要】 肝炎ウイルスの早期発見及び早期治療に資するため、次の事業を実施する。 1 肝炎ウイルスの多様な検査体制の整備・受診を促進する。 2 肝炎ウイルス陽性者に対する初回精密検査及び定期検査費用一部助成を行う。</p> <p>【事業の成果】 1 保健所及び医療機関委託(計41委託機関)により、受験希望者が肝炎ウイルス検査を受けやすい体制を整え、検査を実施した。 ○平成30年度 ・保健所検査 B型+C型 42件、B型のみ 1件 ・医療機関委託検査 B型+C型 195件 ・陽性者発見数 B型 3件、C型 0名 2 肝炎ウイルス陽性者に対し、初回精密検査費用助成及び定期検査費用助成を行った。 ○平成30年度 ・肝炎ウイルス初回精密検査費用助成 7件 ・肝炎ウイルス定期検査費用助成 11件(実6名)</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して事業を実施する。また、保健所検査の受検者数は多くないため、他の感染症血液検査等と併せて更なる周知を行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	検査実施機関			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	<p>当初のスケジュールどおり、年間通して希望者が検査を受けやすい体制を整え、検査を実施した。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>保健所での直営に加え、医療機関、集団検診実施機関等と契約を締結することにより、希望者が検査を受けやすい体制を整備し、受検機会が確保された。 陽性者発見率は高くないが、発見された後も初回精密検査費及び定期検査費用助成などにより、陽性者が医療に結び付きやすい体制をとることができている。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	034200	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	肝炎治療特別促進事業		所属名	健康子ども部鳥取市保健所 健康支援課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	10	まちづくりの目標	事業期間	平成30年度 ~ 全期
	03	政策	根拠法令、 根拠計画等	
目標の 種別	1301	施策	平成28年度	令和2年度
			50%	50%
			50%	50%
			40%	60%
事業分類区分	ソフト(義務)	事業分類区分	ソフト(義務)	
運営方法	直営	運営方法	直営	
会計区分	一般会計	会計区分	一般会計	
予算事業名	肝臓がん・肝炎対策事業費	予算事業コード	01-04-01-02-22-03	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県東部圏域（鳥取市、岩美郡、八頭郡）の肝炎治療受給者証所持者
意図 (どのような状態 にするために)	医療費負担の軽減を図る
手段 (どうするのか)	受給者証を交付し医療費の一部について公費負担を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		年度別計画			①受給者証の申請受付 及び交付	①受給者証の申請受付 及び交付
年度別実績			①受給者証交付件数 ・新規:65件 ・更新:301件			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	0	0	8,324	0	0
	直接経費 A	0	0	1,081	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	1,080	0	0
一般財源	0	0	1	0	0	
人件費 B	0	0	7,243	0	0	
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	申請に対する処理件数	件	目標 実績	0 0
2	(指標の説明)			目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0
	(指標の説明)			目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0
3	(指標の説明)			目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0
	(指標の説明)			目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-22-5694</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算 ・P102 (健052) 12月補正・P16 (健保001)</p> <p>【事業の概要】 高額な治療費が必要となる抗ウイルス治療のうち、肝炎患者が自己負担する治療費の一部を公費負担することにより、肝がんへの進行予防、肝炎治療の効果的促進を図るため、肝炎治療受給者証所持者に対し、県が保険医療費の月額自己負担上限額を上回る額を助成している。平成30年4月の中核市移行に伴い、本市保健所は受給者証の申請受付及び県への進達、受給者証交付事務を実施。</p> <p>【事業の成果】 受給者証の交付申請を受け、鳥取県肝炎治療認定審査会で認定された方に受給者証を交付し、治療促進等を図った。 ○平成30年度 受給者証発行件数：新規 65件、更新 301件</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成30年12月から肝がん・重度肝硬変に対する医療費助成が開始され、また、平成31年2月からは新たに非代償性肝硬変に対する治療が助成対象に追加されるなど、助成制度が拡充されてきており、引き続き、肝炎患者等の進行予防、治療促進を図る必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	申請に対する処理件数			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	月に一度開催される肝炎治療認定審査会に諮問し、適時、受給者証を交付した。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	住民からの申請を受けて、適正に受給者証を発行し、治療促進等を図った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	平成30年12月から肝がん・重度肝硬変に対する医療費助成が開始され、また、平成31年2月からは新たに非代償性肝硬変に対する治療が助成対象に追加されるなど、助成制度が拡充されてきており、引き続き、肝炎患者等の進行予防、治療促進を図っていく。				

事務事業評価シート

事務事業コード	034300	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	がん医療提供体制整備事業		所属名	健康子ども部鳥取市保健所 健康支援課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成30年度 ～ 全期	
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、根拠計画等	鳥取市がん患者の社会参加応援事業補助金交付要綱	
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分 ソフト(任意)	
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%		運営方法 直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%		会計区分 一般会計
	特定健康診査(国保)受診率		40%	60%		
予算	予算事業名	がん医療提供体制整備事業費		予算事業コード	01-04-01-02-22-05	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県東部圏域（鳥取市、岩美郡、八頭郡）在住のがん治療（化学療法又は放射線療法に限る）を受けた方若しくは現在治療中の方、乳がん等の治療（手術療法に限る）を受けた方で、世帯員の市町村住民税所得割額（年額）を合計した額が235,000円未満の方であり、これまで本補助金（県事業含む）の交付を受けたことがない方。
意図 (どのような状態にするために)	がん患者の心理的負担を軽減するとともに、社会参加を促進し、療養生活の質の向上を図る
手段 (どうするのか)	化学療法・放射線療法による脱毛や手術療法による乳房切除など、がん治療による外見変貌を補完するウィッグ（かつら）及び補整下着などの購入費用を助成

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	年度別実績			①ウィッグ(かつら)及び補整下着などの購入に係る経費助成	①ウィッグ(かつら)及び補整下着などの購入に係る経費助成	①ウィッグ(かつら)及び補整下着などの購入に係る経費助成	
				①助成件数60件			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	8,343	0	0	
	直接経費 A	0	0	1,100	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	1,094	0	0
	一般財源	0	0	6	0	0	
人件費 B	0	0	7,243	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	申請件数	単位	件	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		実績				0	0	70	75	75		
		(指標の説明)	申請書の提出があった件数									
	2	目標				0	0	0	0	0		
		実績				0	0	0	0	0		
	3	目標				0	0	0	0	0		
実績					0	0	0	0	0			
(指標の説明)												

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】健康長寿支援係 0857-22-5695</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P103 (健054)</p> <p>【事業の概要】 抗がん剤による脱毛や乳がん手術による乳房切除など、がん患者の外見上の変貌に対するがん患者の心理的負担を軽減するとともに、療養生活の質の向上を図るため、ウィッグ(かつら)及び補正下着などの購入費用を助成する。</p> <p>【事業の成果】 これまで鳥取県東部福祉保健事務所で行ってきた事業であるが、保健所設置に伴い、平成30年度より本市で実施。 ○平成30年度 助成件数60件</p> <p>【今後の課題・方向性】 補助金の対象となる方へ周知していく必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	申請件数			86%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>鳥取県東部福祉保健事務所より事業を引き継ぎ実施し、滞りなく事業を実施できている。今後も、がん患者支援について、鳥取県と連携を取りながら進めていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	034400	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	がん対策推進体制強化事業		所属名	健康子ども部鳥取市保健所 健康支援課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期	
	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市がん対策推進会議条例	
1301	健康づくり、疾病予防の推進					
目標の 施策の 目録	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分 ソフト(任意)	
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%		運営方法 直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%		
	特定健康診査(国保)受診率		40%	60%		
予算	予算事業名	がん対策推進体制強化事業費		会計区分	一般会計	
				予算事業コード	01-04-01-02-22-04	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県東部圏域（鳥取市、岩美郡、八頭郡）のがん対策関係者
意図 (どのような状態 にするために)	地域の特性に応じたがん対策の推進を図る
手段 (どうするのか)	東部圏域がん対策推進会議、担当者連絡会の開催により地域特性に応じたがん対策を協議する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画			①がん対策推進会議の開催 ②担当者連絡会の開催	①がん対策推進会議の開催 ②担当者連絡会の開催	①がん対策推進会議の開催 ②担当者連絡会の開催
年度別実績			①1回 ②1回				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	9,081	0	0	
	直接経費 A	0	0	1,838	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	264	0	0
一般財源	0	0	1,574	0	0		
人件費 B	0	0	7,243	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	推進会議の開催	回	目標 実績	0 0
	(指標の説明)							
2	担当者会の開催	回	目標 実績	0 0	0 0	1 1	1 0	1 0
	(指標の説明)							
3			目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】健康長寿支援係 0857-22-5695</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P103 (健054)</p> <p>【事業の概要】 鳥取県東部圏域の関係者が連携し、地域に密着した医療体制、検診体制、受診率向上等、地域の特性に応じたがん対策を協議し、地域レベルでがん対策の推進を図る。</p> <p>【事業の成果】 これまで鳥取県東部福祉保健事務所で行ってきた事業であるが、保健所設置に伴い、平成30年度より本市で実施。 ○平成30年度 東部圏域がん対策推進会議 1回 東部圏域がん対策担当者連絡会 1回</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も関係者と連携し、がん対策について取り組みを検討、推進していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	推進会議の開催			100%		
	2	担当者会の開催			100%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>予定していた会議を滞りなく開催できた。今後もがん対策について検討していくため、県東部圏域のがん対策関係者を集め協議を重ねていく。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	034500	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	結核予防対策事業		所属名	健康子ども部鳥取市保健所 健康支援課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期	
	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等		
1301	健康づくり、疾病予防の推進					
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分 ソフト(義務)	
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%		運営方法 直営
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%		
	特定健康診査(国保)受診率		40%	60%		
予算	予算事業名	結核予防対策事業費		会計区分	一般会計	
				予算事業コード	01-04-01-04-02-02	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県東部圏域（鳥取市、岩美郡、八頭郡）の結核患者
意図 (どのような状態 にするために)	結核の予防・拡大防止を図り、また結核患者に適正な医療を提供する
手段 (どうするのか)	結核医療費の一部を公費負担、服薬支援、検診に係る助成等を実施

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		年度別実績			①結核健診費用の一部を助成 ②医療費の一部を公費負担 ③接触者健診・管理検診費用を助成	①結核健診費用の一部を助成 ②医療費の一部を公費負担 ③接触者健診・管理検診費用を助成
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	0	0	15,358	0	0
	直接経費 A	0	0	8,115	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	0	0	3,728	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	618	0	0
一般財源	0	0	3,769	0	0	
人件費 B	0	0	7,243	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	結核治療完遂率	%	目標	0
			実績	0	0	100	0	0
	(指標の説明) 全結核患者における治療脱落者を除く治療完遂者の割合。							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-22-5694</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P113 (健074)</p> <p>【事業の概要】 結核の予防・拡大防止を図り、また結核患者に適正な医療を提供するため、研修啓発事業、結核の医療費の公費による負担、服薬支援等を実施する。</p> <p>【事業の成果】 結核医療費一部公費負担及び服薬支援を行うことにより、結核患者が適切に治療を継続、完遂できるよう支援した。 また、私立学校及び民間社会福祉施設等における結核検診に係る補助金の交付を行い、検診による結核の早期発見に努めた。 ○平成30年度 ・結核予防費補助金 29件 ・医療費公費負担 37条37件、37条の2 177件 ・接触者健診・管理検診 接触者 186件、管理 48件</p> <p>【今後の課題・方向性】 結核患者の高齢化や多国籍化の傾向が本市でもあり、今後もすべての結核患者が適正な医療を受けることができるよう、結核医療費公費負担や服薬支援等を継続して実施する。 また、結核の早期発見のため、結核検診に係る補助金の交付を継続する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	結核治療完遂率			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	<p>全ての結核患者が適正な医療を受けることができるよう支援した。結核検診に係る補助金を申請者すべてに対し適切に交付した。</p>
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>新登録患者に対し、医療費一部公費負担や服薬支援を行うことにより、患者が適切な治療を受け、また治療を完遂することができている。また、接触者健診や治療終了後の管理検診の受診管理、結核検診に係る補助金交付などにより、結核の早期発見や拡大防止に寄与した。今後も感染症法に基づき適正に事業を継続する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	034600	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	感染症対策推進事業		所属名	健康子ども部鳥取市保健所 健康支援課

1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	03	住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
施策	1301	健康づくり、疾病予防の推進			
目標の 実施の 手段	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分 ソフト(義務) 運営方法 直営 会計区分 一般会計
	胃・肺・大腸がん検診受診率		50%	50%	
	子宮・乳がん検診受診率		50%	50%	
	特定健康診査(国保)受診率		40%	60%	
予算	予算事業名	感染症対策推進事業費		予算事業コード	01-04-01-04-02-05

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県東部圏域（鳥取市、岩美郡、八頭郡）の住民
意図 (どのような状態 にするために)	感染症発生に備えた危機管理体制の整備及び予防、感染症患者に対する適切な医療の提供整備
手段 (どうするのか)	感染症発生動向調査の実施、感染症診査協議会の開催、感染症患者の医療費公費負担、研修会の開催等

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
				①感染症予防に係る事業の実施	①感染症予防に係る事業の実施	①感染症予防に係る事業の実施	
事業費	年度別実績			① ・感染症診査協議会の開催 ・東部地区施設内感染症対策研修会 1回 ・感染症発生動向調査の実施			
	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
事業費	事業費(A+B)	0	0	13,276	0	0	
	直接経費 A	0	0	6,033	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	1,206	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	134	0	0
	一般財源	0	0	4,693	0	0	
人件費 B	0	0	7,243	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	研修会の開催	回	目標	0	0	1	1	0
				実績	0	0	1	0
	(指標の説明)							
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】感染症・疾病対策係 0857-22-5694</p> <p>【10次総の施策体系】1301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業概要目次：当初予算・P114（健076）</p> <p>【事業の概要】 感染症の発生時における危機管理体制を平常時から整備するとともに、感染症患者に対する適切な医療の提供を図る。また、感染症の発生動向を調査し、感染拡大の兆候を探知するなど、適切な予防活動を実施。</p> <p>【事業の成果】 次の取組を随時実施し、感染症の発生状況の把握、住民等への予防策等の啓発、感染症発生時の指導・適切な医療提供等を推進した。 ・感染症診査協議会の開催 ・東部地区施設内感染症対策研修会 ・感染症発生時の保健調査、疫学指導等 ・感染症発生動向調査の実施</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も、感染症の発生動向を踏まえた住民への注意喚起や、感染症発生時の感染拡大防止の取組を適時適切に行っていく必要がある。 また、外国人観光客の増加など、県内外・国内外の人の往来が増加しており、県内や国内で流行していない感染症（麻しん、風しん、デング熱など）が持ち込まれる可能性も高まってきており、管内での発生に備えておく必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	研修会の開催			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	診査会や発生動向調査などを定期的・継続的に実施した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	感染症発生動向の把握、発生予防の啓発、発生時の指導・対応等を適時実施した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>今後も、感染症の発生動向を踏まえた住民への注意喚起や、感染症発生時の感染拡大防止の取組を適時適切に行っていく。 また、外国人観光客の増加など、県内外・国内外の人の往来が増加しており、県内や国内で流行していない感染症（麻しん、風しん、デング熱など）が持ち込まれる可能性も高まってきており、管内での発生に備えた取組を行っていく。</p>				